

知っておきたい 診療技術

忘れないで

ワクチンの効果

インフルエンザワクチン

今年もインフルエンザが流行する季節がやってきました。

インフルエンザの致死率は0・01%とそれほど高くありませんが、感染者数が多いため、国内では毎年3000人程度の方が亡くなっています。特に60歳以上の致死率は0・55%で、200人に一人の方が亡くなっていることになります。

ワクチンが存在しない感染症と違い、インフルエンザは信頼性の高いワクチンが開発されていますので、強く接種をお勧めします。



インフルエンザワクチン接種

ワクチンの効果

発症予防効果は40～60%で、発症率を約半分に抑えることができます。致死率を下げる効果は82%と、かなり高い有効性が確認されています。

インフルエンザワクチンの効果は約5ヶ月程度持続すると考えられており、11月に接種した方は、4月ごろまで有効です。

ワクチンの副反応

注射部位の痛みや腫れなどは10～20%の方に、発熱や頭痛、全身倦怠感などは5～10%の方にあります。アナフィラキシーを起こす方はごく稀です。

新型コロナウイルス

2024年12月、当院における新型コロナウイルス感染症による入院患者は、以前と比べて少なくなっています。しかし、新型コロナウイルスの感染力はインフルエンザと比べてはるかに強いので、一旦流行すると、あつという間に第12波が押し寄せてくる可能性があります。

ワクチンの効果

新型コロナウイルス感染症の致死率は、60歳以上で約2%と、とても危険な感染症です。しかし、60歳以上の方が新型コロナウイルスワクチンを接種すると、致死率を約7分の1に抑えることができます。また入院が必要となるほど悪化するのを約半数に抑える効果もあります。

ワクチンの副反応

副反応はインフルエンザワクチンより出やすく、50%程度の方に注射部位の痛みや腫れが、10～50%の方に発熱や全身倦怠感、関節痛などがあります。そのため、若い方にはインフルエンザワクチンほどお勧めするわけではありませんが、高齢の方にはできるだけ接種していただきたいと思います。アナフィラキシーを起こすことは、インフルエンザと同じくごく稀です。

ワクチン接種のお知らせ

当院でワクチン接種を希望する場合、内科かかりつけの方およびワクチン接種のみを希望す

る方は完全予約制になります。事前にお電話でご予約ください。内科以外にかかりつけの方は、各科外来にご相談ください。※ワクチン接種は、市町村による補助が受けられる場合があります。詳しい内容は各市町村にお問い合わせください。※インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンは接種間隔を空けずに接種が可能です。

電話での予約受付時間

平日15時～17時

(感染症内科部長 田中俊憲)

長野県新型コロナウイルス接種相談センター

長野県では、新型コロナウイルス定期接種に係る副反応を疑う症状等の専門的な相談に看護師が対応するコールセンターを開設しています。

接種後の副反応などの症状や接種前の疑問・不安などがありましたらご相談ください。



▲「長野県新型コロナウイルス接種相談センター」を開設します

開設期間…令和6年10月1日～令和7年3月31日
受付時間…平日の午前9時～午後5時
電話番号…026-1235-7380